

## 次号予告

### 特集 ゲーム理論の新たな展開と最近の適用例

- 進化論的ゲーム論—生物学を超えて .....松井彰彦 (筑波大学)  
序列トーナメント理論による昇進パターンの分析例 .....伊藤秀史 (大阪大学)  
職場における人員配置問題—マッチング・ゲーム理論の適用例  
.....大道典子 (大阪府), 岡田 章 (京都大学)  
投票による決定制度とシャープレイシュービク指数 .....武藤滋夫 (東京都立大学)

**編集後記** ●6月から編集委員会に加わりました。どうぞよろしくお願いたします。学会の他の仕事は経験したことがありますが、編集は全くはじめての仕事です。今までの読者の立場から見ると、OR誌は、自分が勉強している分野とよほど離れていない限り、興味深い解説や講座が、専門外の人にも分かりやすく述べられている、視野を広げる格好のテキストでありました。また、学生の卒業研究の糸口としてもよく活用いたしました。これから作る側に加わって、先輩諸氏の仕事ぶりをみながら、また、委員長のご指導を受けながら、会員の方々に広く、できることならば深く、興味を持っていただける内容を企画できるよう努力していきたいと考えております ●先日、学校の計算機システムを使った教育事例の発表会に出席いたしました。本筋であるプログラミング教育にまじって、波動を理解する物理の学習システムとドイツ語学習システムが紹介されていました。いずれも、テキスト、音、動画

を使った教材がコンピュータ上に用意されており、これを学生ひとりひとりが使って学習を進めるものです。従来の教師から学生への一方通行の授業に代えて、語学では自分の進度や弱点に合わせて学習を進める、物理学では現象の観察とバーチャルな実験から理論モデルを組み立てるといった、自主性に重点がおかれていました。また、後者ではグループ討論にも力が注がれるそうです ●ドイツ語の学習では、1時限そのシステムを使うと学生がのめり込んで非常に疲れてしまうそうです。講義が終わると自分ばかり疲れている我が身を振り返るとうらやましいかぎりです。背景には、学校以外に非常に忙しい生活を送っている学生に、学校の勉強にも積極的に参加させるといふねらいもあるのだと思います。ORを題材として、このような新しい学習の進め方にも、積極的に取り組んでいきたいものです。 (田口 東)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

**委員長** 逆瀬川浩孝(早稲田大学) **副委員長** 山上伸(東京ガス株)、山下勝比掬(株東芝)、大山達雄(埼玉大学)  
**委員** 伊藤裕康(株富士通研究所)、上田徹(成蹊大学)、葛山康典(早稲田大学)、國澤直樹(東京電力株)、栗田治(慶応義塾大学)、佐賀井重雄(財電力中央研究所)、外嶋成留(住友金属工業株)、田口東(中央大学)、田中宏和(さくら総合研究所)、中里宗敬(青山学院大学)、西尾チヅル(筑波大学)、水野眞治(統計数理研究所)、矢島安敏(東京工業大学)、山下英明(駒澤大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成8年11月号 第41巻 第11号 通巻431号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円 (本体922円, 郵送料含) 年間予約購読料10,800円 (税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337)、日経弘報社 (3563-2241) へ